

沖縄ライフサイエンス研究センター

Okinawa Life Science Research Center



沖縄の新しい ライフサイエンスビジネス創出に向けて

沖縄ライフサイエンス研究センターは、沖縄県がバイオ・ライフサイエンス分野の科学技術の振興と産業化を目的に、ベンチャーや研究機関等が連携する研究・開発、ビジネス化のための中核施設として設置した県内初のP2レベル対応のレンタルラボです。

～沖縄県の「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」によるイノベーション創出～

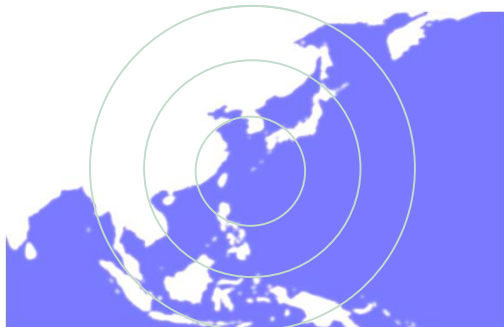
沖縄県は、令和4年5月に「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定し、科学技術を活用し、産学官金の有機的連携による相乗効果の発揮により、新たな付加価値を創造するイノベーション型の経済成長への転換を図るため、イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興を目指しています。

本センターが位置するうるま市州崎地区等は、産学官の研究ネットワークの充実・強化、異業種交流や産学連携等の推進によるオープンイノベーションの促進、県内大学等が進める先端医療の研究や事業化、スタートアップ・大学発ベンチャーの成長支援が図られ、イノベーション創出等の中核的拠点になっています。

沖縄県は、亜熱帯特有の生物資源に恵まれ、アジアに近いという地理的優位性の他、充実した公的支援を活用した研究施設整備補助金等の施策等もあり、最先端の研究開発や事業化に必要な施設・設備が整備され、多くのベンチャーや企業が進出しています。

バイオ・創薬関連産業での沖縄県の強み

- 亜熱帯特有の生物資源の存在（植物、微生物、海洋生物等）
- 世界最高水準の研究を目指す沖縄科学技術大学院大学、琉球大学、沖縄工業高等専門学校等の研究・教育機関の存在と優秀な人材の集積
- バイオベンチャーの集積地・・・バイオ関連産業企業数69社（2021年沖縄県調べ）
- 国際航空物流拠点・・・那覇空港のハブ化



沖縄県是那覇空港のハブ化を進めています。
那覇空港を中心にして北海道～東南アジア諸国が
3000km圏内に入ります。



琉球大学病院



琉球大学



沖縄科学技術大学院大学



国立沖縄工業高等専門学校



沖縄ライフサイエンス研究センター
沖縄県工業技術センター
沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター
沖縄バイオ産業振興センター

沖縄県のバイオ関連の支援

- 各種支援事業、税制優遇措置、雇用・投資に対する各種助成金などの支援策が充実しています。



沖縄バイオ産業振興センター



沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター



沖縄県工業技術センター

施設概要

- 所在地：沖縄県うるま市字州崎5番8
- 構造：鉄骨造 平屋建て
- 延床面積：2,970平方メートル
- 駐車台数：81台(来客用10台含む)
- 竣工：平成25年3月29日
- 基本仕様：物理的封じ込めP2レベルの研究室(前室付)、動物室での小動物(マウス・ラット)の飼育可能、放射性同位元素の使用不可

●基本設備

- 研究室：前室付、独立空調(通常空調・外気処理空調)、非常用電源、ICカードによる入退室管理、(レンタルラボ)安全キャビネット(BSCクラスII A2型)(大研究室2台、中研究室1台、小研究室1台)、試薬棚付実験台・椅子、流し台装備、オートクレーブ*(*台数に限りあり)
- 共通機器等：製氷機、超純水製造装置、全自動洗浄機、エマージェンシーシャワー(無料)
- 共用実験室・共用機器：共用機器として50種類以上の機器の利用が可能(有料)
- 付属設備：会議室、リフレッシュスペース、大型プリンター他(有料)

※「共用機器等利用案内」及び料金表をご参照ください。



小 研究室(レンタルラボ)



共用実験室



90L自動培養装置



会議室

入居応募要件

- (1) 次のいずれかに該当する個人、法人又は法人格のない団体を構成する者であること
 - イ 一定以上の技術力を有し、研究開発成果の企業化を積極的に指向するもの
 - ロ 県、大学、国公立試験研究機関等と共同研究を行うもの
- (2) 施設で行う研究は、ライフサイエンス分野に関するものであること
- (3) 事業資金の調達能力を有している者であること
- (4) 大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭等の公害に対し、十分な公害防止対策が可能なる者であること
- (5) 研究の内容等が各種法令等に抵触せず、研究室の構造上、設備上問題なく利用する者であること

その他

- (1) 利用許可期間：1年を超えないものとする(更新可)
- (2) 共用部(廊下、トイレ、リフレッシュスペース等)の電気・水道料金をレンタルラボの面積に応じて負担
- (3) 諸法令、県の条例・規則、沖縄ライフサイエンス研究センターの規程等を遵守すること
- (4) シェアードラボ：入居企業以外でも実験台を1日単位でレンタル利用可能

入居までの流れ

(1) 申込み

- ・必要書類を指定管理者へ提出・申込

(2) 指定管理者による審査(1~2週間)

- ・指定管理者が応募要件等を審査

(3) 入居者選考委員会による審査

- (申込から1~2カ月)
- ・入居者選考委員会(県・関連機関・学識経験者等で構成)による審査

(4) 利用許可

- ・指定管理者より利用許可書を発行

(5) 利用開始

沖縄ライフサイエンス研究センターの指定管理業務について
令和3年4月1日から5年間、イノベーションサポート沖縄株式会社が沖縄県より委託を受けています。

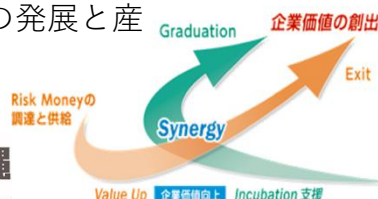
イノベーションサポート沖縄(株)は、グループ会社であるバイオ・サイト・キャピタル(株)とシナジー効果を発揮させて連携を図りながら、沖縄県内のベンチャーの成長支援、研究開発、産学連携などに努め、科学技術の発展と産業振興へ寄与して参ります。

グループが管理運営するレンタルラボ

関東、関西と沖縄を結ぶ架け橋として地域に貢献します。



イノベーションサポート沖縄
Innovation from Okinawa



部屋	間口・奥行	小タイプ	中タイプ	大タイプ
	前室	19.35㎡ (4.3m × 4.5m)	38.7㎡ (4.3m × 9.0m)	77.4㎡ (4.3m × 18.0m)
	実験室	41.4㎡ (9.2m × 4.5m)	82.8㎡ (9.2m × 9.0m)	165.6㎡ (9.2m × 18.0m)
	月額利用料 (消費税込)	146,644(円)	293,288(円)	584,172(円)
	高さ	駐車場 1台当たり1カ月 3,137円 レンタルラボ(部屋)の電気・水道・ガスは実費負担。 ※原則として3カ月分の利用料を預り金として預託をお願いします。		
	床	天井高(実験室:3m 前室:2.7m) 天井フコロ寸法 実験室・前室ともに約2m		
	壁・天井	ビニール床シート(長尺、抗菌・耐薬品性)		
	ドア	軽量鉄骨天井下地:12.5mm石膏ボード下地張り(不燃材)、 8mmロックウール化粧吸音板(不燃材)		
	積載荷重	軽量鋼製親子開きフラッシュドア(H=2.1m W=1.2m) 外扉(H=2.7m W=1.8m) (注1)		
空調	床 : 約300kg/㎡ (設計荷重)			
空調	パッケージエアコン、シックハウス用換気扇(70㎡/h)、排気・給気ファン(2,100㎡/h)、室内循環換気(2,500㎡/h)、エアカーテン			
給排水	全室ウェットラボとしての使用が可能のように給排水設備を設置 (注2) 給水:室内天井内バルブ止め 排水:区画壁両側の外壁際にキャップ止め			
電気	電源	容量:既設照明、空調電源含み(単相・3相) 小タイプ:30.5kW(VA)、中タイプ:55.5kW(VA)、大タイプ:117.6kW(VA) 非常用電源:停電時から10秒以内に稼働、使用状況によるが概ね6時間程度		
	照明	高効率Hf型蛍光灯ランプ、照度700LX		
ガス	二次側はテナント配置			
通信	電気室に既設で集合盤設備を設置。レンタルラボ内前室に接続口配置 (注3)			
セキュリティ	ICカードによる入退室。SECOMによる警備。インターホンはエントランスとの通話可能(オートロック対応)。			

- (注1) 外部扉はP2対応のために閉鎖(コーキング)されています。使用することも可能ですが、退去時には閉鎖をお願いします。
- (注2) 排水について、ラボでの産業廃棄物、危険物排水等は業者処理とし、建物の排水設備へ各種原液を流さないようにお願いします。
- (注3) 通信会社と個別に契約し、館内の光通信用の集合盤から各研究室への配線工事が必要です。

(ご注意)
利用料は、令和5年11月現在のものです、消費税率の変更によって変動しますので、お問い合わせ頂きますようにお願いします。



アクセス
那覇空港から車で約1時間
(沖縄自動車道北中城IC又は沖縄北IC下車)



入居その他ご関心のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

沖縄ライフサイエンス研究センター指定管理者 イノベーションサポート沖縄株式会社

〒904-2234沖縄県うるま市字州崎5-8 沖縄ライフサイエンス研究センター101

TEL:098-982-1060 FAX:098-982-1080 E-mail :support@isokinawa.co.jp

URL : <https://www.isokinawa.co.jp>